

近江八幡発、「障害」「地域」と対話する4つのアートプログラム

ニューノーマル時代にアートで人をむすぶプロジェクト

2021年9月18日|土|-11月21日|日| まちや倶楽部、旧増田邸 (近江八幡旧市街地) 詳しくは、裏面の地図をご覧ください。



これからのコミュニケーションについて、 アートが考えられること。

2019年末、出現した新型コロナウイルスの感染拡大は、人と人とのむすびつきにも影響を及ぼしました。ソーシャルディスタンスの確保や、オンライン会議など、いま、私たちのコミュニケーションは、「触れ合わない」、「対面しない」というニューノーマル（新たな常態・常識）時代に突入しています。

多くの人がこの新しいコミュニケーションの形に順応する中で、これに馴染めず、関わりを奪われてしまったと感じている人たちもいます。いま、私たちに求められているのは、この変化により、見過ごされかねない人たちのことを想像し、誰一人取り残すことないように取り組んでいくことではないでしょうか？

本プロジェクトでは、世の中の仕組みが変わっていく中でも、誰もが社会とのつながりを持ち続けるため、「障害とアートのニューノーマル」、「地域とアートのニューノーマル」という2つの切り口から、人と人をむすぶ、様々な企画を実施します。

コロナ以降、ニューノーマル時代のコミュニケーションが、誰にとっても開かれたものであるように、アートをとおしてできることはなにか、考え、形にしていきます。

ニューノーマルとは？

ニューノーマル (New Normal) は、社会構造の変化によって生じた新しい常態や新しい常識が世の中に定着することを指します。言葉自体は以前からあったものですが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う近年の生活様式の変化とともに、よく使われるようになっていきます。



障害とアートのニューノーマル

アートとの接し方をほぐす——美術鑑賞は、人の数だけ。

誰もがアートを楽しめるように、美術鑑賞の方法を、知的障害のある人や盲ろう者が、アーティストらと一緒に考えるプログラム「みんなの“鑑賞”」を行います。それぞれの障害特性や個性に応じて考え出される鑑賞方法との出会いが待っています。それは、あなたとアートの接し方をほぐし、ニューノーマルな時代の美術鑑賞の可能性を示してくれることでしょう。

プログラム1

「みんなの“鑑賞”」を鑑賞しよう 展示

「みんなの“鑑賞”」で考案された鑑賞方法は、
展覧会「79億の他人」の会場（まちや倶楽部）でご覧いただけます。
観覧料はかかりません（他の展示を見る際は、観覧料が必要です）。
展示期間：2021年9月18日（土）-11月21日（日）
展示場所：まちや倶楽部（滋賀県近江八幡市仲屋町中21）

みんなの“鑑賞” 1

障害者支援事業所いきいき
+ 野原健司と考える。

プロジェクトメンバー

河原崎未識、外山聖、野原健司、森美菜子、安田真一郎



みんなの“鑑賞” 2

しが盲ろう者友の会の人たちと考える。

プロジェクトメンバー

岡田昌也、岡本克司、北川雅貴、野中美智子、安川雄基





プログラム2

「みんなの“鑑賞”」を考えた人が 案内する鑑賞会

鑑賞会

「みんなの“鑑賞”」のプロジェクトメンバーとNO-MA学芸員による、作品鑑賞会です。普段とは違う世界の捉え方で、作品に向き合ってみませんか。

障害者支援事業所いきいき +野原健司と楽しむ鑑賞会

10月1日(金) 13:30-14:45

集合:NO-MA 定員:5名(要予約)

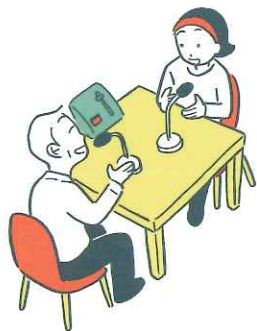
参加費:無料

しが盲ろう者友の会の人たちと楽しむ鑑賞会

10月8日(金) 13:30-15:00

集合:NO-MA 定員:5名(要予約)

参加費:無料



地域とアートのニューノーマル

NO-MAのご近所さんとつくる、この町のアートプログラム

コミュニケーションの形が変わりゆくとしても、この地域にあるつながりを守り、ここに住む人たちの考えや言葉を、ニューノーマル時代につないでいくため、「NO-MAご近所、動画なRADIO放送局」と「おいでよ近江八幡!ガイドは、NO-MAのご近所さん。」の2つの企画を行います。

プログラム3

NO-MAご近所、 動画なRADIO放送局

動画配信

重要伝統的建造物群保存地区にラジオブース風スタジオが登場。町づくりコーディネーターから、ベテランNO-MAボランティアまで、多彩なゲストによるトークプログラムを実施します。ラジオプログラムはインターネットで配信します。

動画視聴や、プログラムの詳細は
特設サイトをチェック!



new-normal-art-project.com

インターネットがうまく使えないけど、 トークが見たい・聞きたい方へ

ラジオブース風スタジオとなる、旧増田邸を土日祝に公開します。会場の中に、過去の放送を聞いていただけるコーナーを設置します。

会場:旧増田邸(滋賀県近江八幡市仲屋町中4)

※NO-MAから歩いて5分程度。

「みんなの“鑑賞”」成果展示会場の
まちや倶楽部のすぐ近くにあります。

日時:2021年9月18日(土)~11月21日(日)の間の土・日・祝
11:00-17:00



プログラム4

おいでよ近江八幡! ガイドは、NO-MAのご近所さん。

町歩き

近江八幡をよく知るご近所さんにガイドになっていただき、NO-MAや近江八幡の旧市街地をめぐります。いつもの旅とはちょっと違う、「ならでは」を味わいたい人、ぜひご参加ください。

第1回

田口真太郎さんとめぐる、町歩きツアー

長年、近江八幡の町おこしに携わってきた

田口さん「ならでは」の魅力発見ツアー

10月9日(土) 13:30-15:00

会場:NO-MA近隣 近江八幡旧市街

ガイド:田口真太郎(成安造形大学 未来社会デザイン共創機構 研究員)

定員:10名(要予約) 参加費:無料

第2回

宮村利典さんとめぐる、町歩きツアー

「79億の他人」展の会場であるまちや倶楽部オーナーの

宮村利典さんに、建物の魅力や町づくりについて伺います。

11月6日(土) 13:00 まちや倶楽部 集合 14:00 解散

会場:NO-MA近隣 近江八幡旧市街

ガイド:宮村利典(まちや倶楽部 代表)

定員:10名(要予約) 参加費:「79億の他人」展観覧料

特設サイトをオープンします。

近江八幡は遠い、でもこのプロジェクトを知りたい、そんな人へ。

みんなの“鑑賞”がかたちづくられていく様子をレポートで読めたり、「NO-MAご近所、動画なRADIO」の動画配信が楽しめます。近江八幡発、「障害・地域とアートのニューノーマル」を全国に向け、お届けします。



new-normal-art-project.com

お問い合わせ・イベントのご予約

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA

〒523-0849 滋賀県近江八幡市永原町上16 (旧野間邸)

TEL/FAX : 0748-36-5018

Email : no-ma@lake.ocn.ne.jp

URL : http://www.no-ma.jp

主催：アール・ブリュット魅力発信事業実行委員会

構成団体：ボーダレス・アートミュージアムNO-MA (社会福祉法人グロー [GLOW])、滋賀県、滋賀県立美術館、近江八幡市、一般社団法人近江八幡観光物産協会、滋賀県立大学、NPO法人はれたりくもったり、滋賀県施設・学校合同企画展実行委員会

会場へのアクセス

電車、バス：JR琵琶湖線 近江八幡駅北口から近江鉄道バス〔長命寺線 (6番のりば)〕→乗車 約10分→バス停 [大杉町八幡山ロープウェイ口] 下車→徒歩約5分→まちや倶楽部、旧増田邸 (NO-MAからは徒歩約5分)
車：名神高速道路 竜王IC→約25分→まちや倶楽部、旧増田邸



同時期に開催する展覧会

ボーダレス・アートミュージアムNO-MA企画展

79億の他人——この星に住む、すべての「わたし」へ

2021年現在、およそ79億の他人が、地球の上で共存しています。めいめいの身体、人種、性、思考、社会的立場——79億通りに枝分かれする個性は、わたしを唯一無二のわたしとして同定すると同時に、わたしとそれ以外の人間とを分断してあります。「79億の他人」は、12組の出展者による表現を通して、人と人との間の差異、あるいはその差異の上でいかなるコミュニケーションが編まれるか、これらを照射する展覧会です。

出展者：

五十嵐英之と倉地雅徳 / intext / 北野謙 / 金仁淑 / 佐々木卓也 / 重症心身障害者通所施設えがお / 武田憲昌 / 田辺慶大 / みんなの“鑑賞” / 藤本正人 / 土方糸いとヒジカタタキ / 八幡垂樹

会場：

- ①ボーダレス・アートミュージアムNO-MA (滋賀県近江八幡市永原町上16 (旧野間邸))
- ②まちや倶楽部 (滋賀県近江八幡市仲屋町中21)

会期：2021年 (令和3年) 9月18日 (土) - 11月21日 (日)

開催時間：11:00-17:00

休催日：月曜日 (祝祭日の場合は翌平日休館)

観覧料：共通券 500円 (450円)、一館チケット 300円 (250円)

※中学生以下無料 ※障害のある方と付添者1名無料 ※ () 内は20名以上の団体料金

主催：社会福祉法人グロー (GLOW) ~生きることが光になる~

